

事業計画書

事業名	観音寺区の歴史を編む ―過去・現在・そして未来創造へ―
実施箇所	観音寺区内
実施期間	事業開始予定年月日 平成30年 4月 1日
	事業終了予定年月日 平成31年 3月 31日
事業概要	<p><事業の目的及び達成目標></p> <p>観音寺区は、江戸時代にこの地に住んだ先人たちにより観音寺新田として開拓され現在の美しい故郷となっている。雄大な田園風景は都会人をも魅了し、近年旧望月内で最も移住者の増えた区となったが、当区も他の中山間地同様、今後は高齢化が進み、このままでは急激な人口減少を免れることは出来ないだろう。そこで、今この地に住む住民が区内外に残る資料や高齢者からの聞き取り等を通じて新田開拓から現在に至る歴史を紐解き、また、各家に残る写真などを加えた資料集として後世に伝える。村の歴史の大きな要素である水源をめぐるバスツアーを行い、生き生きとした地区の歴史や風俗を、区民全員で学び共有の資産とすることで、地区の魅力を再認識し、共同体として維持していくための力の源とする。さらに外部に向けた発信にも繋げ「住みたい地区」として知ってもらおう活動に発展させたい。</p>
	<p><事業の内容></p> <p>住民全員の協働による編集作業を通じて、地区の魅力や課題を共有し区民全員で地区の未来を考えるきっかけとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者、働き盛り世代、移住者から地区の歴史や魅力を聞き取る。 ・ 区民が持つ写真や古文書などの資料の収集、整理 ・ 行政資料から人口の推移、中山間事業などを調査 ・ 町誌や周辺地域の関連書籍から観音寺地区の情報を収集し、年表や地図にまとめる。 ・ 移住者の座談会を通じ、外から見た地区の魅力を整理し、今後の在り方を考える。 ・ 圃場水源をめぐるバスツアーを行い、水路にまつわる地区の歴史を実感・共有する。 <p>○スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H30.4～12 資料収集と編集 ・7月頃バスツアー ・H31.1～2月印刷 ・ H31.3 資料完成、配布
	<p><アピールポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 故郷に誇りを持つ機会となる。（歴史を区民が共有できる） ・ 区民間のコミュニケーションが新たに生まれる。（特に旧住民と新住民間） ・ 地域の未来を考える機会となる。 ・ 区民全員が参加する事業である。 ・ 区の歴史を後世に残すことができる。 ・ 県内中山間地での地域づくりのヒントになりえる事業。

年間計画	4月	・住民からの聞き取り調査開始 ・写真収集
	5月	・住民からの聞き取り調査 ・写真収集
	6月	・住民からの聞き取り調査 ・写真収集
	7月	・住民からの聞き取り調査 ・写真収集 ・圃場水源見学ツアーの開催
	8月	・歴史学習会の開催（郷土史家の講義） ・編集開始
	9月	・編集作業
	10月	・歴史学習会の開催（郷土史家の講義） ・編集作業 ・収集写真の上映会（プロジェクターにて）
	11月	・編集作業
	12月	・編集終了 ・印刷発注
	1月	・印刷
	2月	・印刷
	3月	・印刷完了、区民・公共機関への配布。発刊記念行事の開催。 事業終了
	活動すること で期待される 地域や社会への 具体的な効果・ 成果 (事業の対象者・ 参加予定人数も 記載)	<p><「公益性」の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内のコミュニティーの再構築。 ・地区の魅力や課題を住民全員で共有し、皆で地区の未来を考えるための事業とする。そのため、住民全員参加を目標とする。（資料収集や座談会、編集作業への参加世帯数：目標全69世帯の90%以上の参加） ・完成した図書を市内の図書館や公共機関に寄贈し多くの方にご覧いただく。 ・当区と同様の中山間地での地域づくりのヒントとなりえる事業と考える。 ・印刷した書籍は、市内の図書館等の公共施設に寄贈し、郷土資料として活用して頂く。 <p>※（印刷冊数200冊 内訳：区内配布80冊、公共機関への寄贈40冊、貯蔵80冊）</p>

<p>活動を継続 するための 取組や考え 方 (資金面、 人材等)</p>	<p><「自立性」の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの再構築により、自治会活動の活性化を図り、継続可能で元気な自治区を目指す。
<p>翌年度以降 の活動内容 概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な記録収集を行う。(継続的に区内の写真を収集) ・今事業で生まれた区民間のコミュニティを生かした村づくりに取り組んでいく。(圃場の維持や農産品の販路拡大など)
<p>事業の 最終目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な自治区づくり ・村民が故郷への誇りを持つこと。 ・激変した村の歴史を正確に後世に残すこと。